

会を頑張り、ボランティア活動もたくさんやっていきたいと思います。

長和園でのボランティア 3の4 神田 瞳さん



私は今までに3回長和園を訪問しました。その3回でいろいろなことを経験し、学ぶことがたくさんありました。

これは3回目の訪問の時のことです。今までに見たことのない人が働いていました。印象的だったのでよく覚えています。その人は茶髪でピアスをしている若い男の人でした。あまり長和園でそういう格好の人が働いているのは見たことがないので最初はびっくりしました。でもその人は一生懸命でした。おじいさんやおばあさんに「どうしましたか」と聞いたり、車いすを押してあげたりしていました。またその姿は優しく見えました。その人のことを見た目で判断してしま

った自分が恥ずかしくなりました。

けれども、なぜそういう見た目の人がこういう所で働いているか不思議でした。もっと違う仕事だってあるのになぜこの職業についたのだろうかと思いました。でも長和園でいろいろなことを体験するうちにだんだんわかってきました。私は長和園を訪問してふとんのカバーをはずしたり、ふとんを毛布にかえたり、ぞうきんをぬったりするのが好きになりました。家でそういうことをしても何とも思いませんが、長和園でするととても気持ちがよくなります。気分もよくなり明るい気持ちになります。また、おじいさんやおばあさんと話をするのも楽しくなりました。特におばあさんは私の知らない折り紙の折り方を知っているののでいろいろ教えてもらえます。そして教えてもらって折り、自分ができないものが折れるととてもうれしいです。こうやってお年寄りとおふれ合うことによって優しさが伝わってきます。たぶんその茶髪でピアスをしていた人もその他に長和園で働いている人みんながこのボランティアの良さに気づいたからこの職業を選んだのだと思います。私も長和園を訪問してそのことに気づきました。

私は中学3年生になっていろいろ進路のことなどを言われるようになり、自分の将来の夢について考えるようになりました。でもまだこれになりたいというものがありません。しかし長和園を訪問して福祉関係の仕事に興味を持ちました。この仕事は人の役に立ち、喜んでもらえるし、これからの高齢化社会の中で最も大切な職業だと思います。でも興味を持った反面、自分が思っている以上に大変な職業だとも思いました。私はまだ3回しかやったことがないから楽しいと思えるのかも知れません。ここで働いている人はみんな充実した顔をしていましたが、けっこう大変そうでした。人の役に立つということが簡単なことではないことがよくわかりました。まだ将来のことはよくわからないけれどこういう仕事が体験でき、勉強になりました。

このように私は長和園を訪問して、いろいろなことを経験、学ぶことができました。その中で私は自分なりにボランティアとは何か考えました。ボランティアとは人に言われてするものではなく、自分から進んでする奉仕だと私は思います。これからは長和園訪問以外のボランティア活動にも積極的に参加したいと思います。

10月21日例会： 米山月間 外部卓話 市議会議長 原茂之様

10月28日例会： クラブフォーラム 地区大会報告会



三条北ロータリークラブ週報

ロータリーの心を

あなたの住むところ
私たちの世界
そこに住むすべての人々に

国際ロータリー会長 グレン W. キンロス 第2560地区ガバナー 久保田昭治

会長／米山 忠俊
幹事／吉川 吉彦
SAA／長谷川 博一

例会日／火曜日 12:30～13:30
例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114
事務局／三条市西四日町3-15-34
ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

例会日
1997. 10 . 14
累計 No 532
当年 No 15

行事： 卓話「ボランティア活動に参加して」私の体験発表

出席： 本日の出席 53名中 34名

先々週の出席率 53名中 51名 96.23% (前年同期83.93%)

【9月の出席状況：会員数 53名 例会数 4回 平均出席率 93.40%

(昨年同月84.38%)】

先週のメイクアップ： 10月8日三条RCへ 梨本清一さん

9日見附RCへ 淵岡 茂さん

13日三条南RCへ 梨木建夫さん、佐藤文夫さん、外山晴一さん

ビジター： 三条RCより 五十嵐晋三さん、加藤紋次郎さん

三条南RCより 田中正佐久さん、吉田秀治さん、吉田行雄さん

ゲスト： 三条市立第三中学校 ボランティア委員 小林和見さん、神田瞳さん

顧問 平野政幸先生

会長挨拶： 米山忠俊

本日は先週10日からの3連休後、昨日1日おいての10月の第二例会です。

体育の日から始まった連休は、スポーツの秋、又行楽のシーズンと一年で一番良い時期を向えております。

皆さん連休は、いかがお過ごしでしたか。ゴルフ、山登り、魚釣り、旅行、結婚式、運動会等いろいろな行事があった事を聞いております。楽しく、いい汗をかかれたのではないかと思います。

10月10日は「体育の日」で昭和39年(1964年)に東京オリンピックの開会式が行われた日を記念して制定されたそうです。又、過去の統計的にも天気になる確立がたかくこの日に「体育の日」が決められたと聞いております。この日は天気がよくなるという事で屋外の行事はこの日に予定されるようです。私も町内のゴルフ会に参加して楽しんできました。その会には当クラブのゴルフ同好会幹事の本間茂男さんも一緒でした。

本間さんお世話になりました。

又本日の行事はロータリーでは10月は「職業奉仕月間」ということで佐藤啓策委員長さんから卓話をお願いしております。宜しくお願い致します。

ロータリーの歴史はほとんどが職業奉仕であったといわれ、ロータリーの最初は自分達の利益を求めて始まった単なる社交クラブからスタートとし、その後自分達が楽しく過そうかと考えクラブ奉仕が起った。又その当時の時代的背景からロータリーだけでも安心して商売をしようじゃないかと職業奉仕が始まりました。その後シカゴで公衆便所を作った時に社会奉仕が生れたとの「四大奉仕」のルーツを重田パストガバナーから地区協でお聞きしました。

この期会に今年度はグレンW・キンロス会長は「四大奉仕部門のすべてを通じてロータリーの心を」強調されております。その中の一つ「あなたの職業にロータリーの心を」この「ロータリー月間」を期に再認識を頂きそれぞれ自分の職業を通しその力相応に発揮し職業奉仕を頂ければと思っています。挨拶終ります。

幹事報告： 吉川幹事

- ・新潟県国際交流協会より 協会機関誌の送付について
国際交流イベント情報の提供について
- ・米山記念奨学委員会より ロータリアン各位の寄付金活動参加のお願い
藍壺5号の送付について
発刊につき協賛のお願い（1人100円）

委員会報告：

- ゴルフ同好会 本間茂男会長
- ・10月30日開催の三条北RCゴルフ同好会コンペは同日、同所（下田城カントリー倶楽部）で市内6クラブ合同コンペが開催されますので北RCコンペは6クラブ合同コンペに便乗し、表彰式に参加します。後日、組合せを関係者にお知らせします。

ニコニコボックス：	14日現在累計	520,000円
-----------	---------	----------

- 堀川正幸君 先日雨の中、群馬県との境にある平標山に登って来ました。今紅葉まっさかりで、まさに綾錦のごとくでした。これぞ山登りのダイゴ味ですね、
- 羽賀一夫君 世界エレベーター会議でミュンヘンに来了います。芸術の都バイエルンとロマンチック街道の素晴らしさに感動してBOXへ。ゴルフの握りで勝った負けたなど、他愛のない事に気づきました。今まで皆さんからいただいた分は全てお返しいたします。ドイツより愛を込めて北RCの皆様へ。
- 米山忠俊君 10月は「職業奉仕月間」です。ボランティア活動も宜しくお願い致します。本日は第三中学校の小林さん、神田さん御苦労様です。ようこそいらっしゃいました
- 馬場直次郎君 体育の日に家族で信州の秘湯と言われている馬曲（まぐせ）温泉へつかりに行ってきました。10年前とずい分様変わりしており、湯の中はまるでイモの子あらいのようでした。テレビ等で紹介されますとあっというまに人、人の波になってしまうのですね。
- 丸山誠一君 小林さん、神田さん今日はよろしくお願い致します。平野先生ごくろうさまで

す。お話しします。

北鼓隊にアメリカから「ネイザン」、イギリスからマリアが入隊し、国際的になりました。

- 布川和雄君 三条第三中の生徒の皆さんのボランティア活動に敬意を表して、
- 吉田秀治君 （三条南RC）山崎さん、日中友好の翼では、大変お世話になり有難う御座居ました。

ロータリー財団：

- 山上茂夫君 少々勉強不足を感じましたので若い人達に少しでも今の内に勉強して頂きたいと期待して……。

米山奨学会：

- 梨本清一君 親におめでたいことがありそれを記念して恒例の米山積立てです

ボランティア活動に参加して：

- ボランティアについて 小林和見さん



私は、4月にボランティア委員会に入りました。今まで、長和園にも、1回訪れただけで、あいさつ運動も、2回ほどしか参加しなかったし、ボランティア活動は、進んでやるほうではありませんでした。そして3年生になり、最後だから委員会もがんばろうかな。ふと、そう思って、今までほとんど活動に参加せず、中途半ばにしかやっていたことのないボランティア活動。もう一度心を入れかえて、活動したいと思いそのボランティア委員会に入ろうと決心しました。勇気を出して委員に立候補しました。そして正式にボランティア委員になることができました。

ボランティア委員会の仕事は、思ったより大変なものでした。ボランティア新聞作り、ベルマークグリーンマーク集計、長和園訪問への呼びかけ、などをやります。なれないせいか、仕事は進まず9時ごろまでやったこともありました。部活動の大会が近くなっても、委員会の仕事が終らず部活を欠席したこともありました。

委員会に入ってから何ヶ月して、ある一冊の本から「ボランティアとは、ボランティアする側がされる側に対して優越感をもって接するものでなく、ボランティアされる側に喜んでもらい、そしてボランティアする側も共に喜び、相手を思いやる気持ちを発達させるものだ」と言う言葉をみつけ、ボランティアってすごいなあ、と感動しました。委員会に入ってから私は、ただ、やらなければならないものだけをやり、自分から進んでボランティアをやろう、という気持ちは、ほとんどなく、ボランティアとは、何をどうするものかもよくわからず、しだいに、“やろう”という気がうすれていた時、この言葉を見つけたのです。この言葉を見つけて、ボランティアとは何か、誤ったボランティアと正しいボランティアのことを理解でき、中でも一番すばらしいことは、本当のボランティアをすることによってボランティアする側も、される側と、わかり合い、そして共に発達していくことができるということです。

あの文章のおかげで、ボランティアの本当の意味がわかったような気がします。これからは委員